

磐田市

桶ヶ谷沼 ビジターセンター だより

第232号 2023年9月号



開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)

住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地

電話: 0538-39-3022 FAX: 0538-39-3023



「こんちゅうクンの昆虫教室」を開催しました

8月2日(水)に「こんちゅうクン」こと竜洋昆虫自然観察公園の北野伸雄さんを講師に招き「こんちゅうクンの昆虫教室」を開催し、14人の参加がありました。こんちゅうクンから、クワガタやアメンボ、ダンゴムシ、ナナフシ、クモの5種類の小動物の実物を見ながら昆虫の特長などの説明を受けた後、桶ヶ谷沼へ出かけ、クヌギなどの木に集まるカナブンやクワガタ、セミ、チョウなどの昆虫を観察をしました。

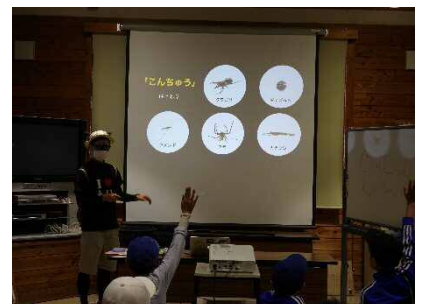
昆虫採集やこんちゅうクンのわかりやすい説明で、楽しく昆虫について学ぶことができました。観察後は捕まえた昆虫を逃がしてあげました。



①こんちゅうクンの自己紹介



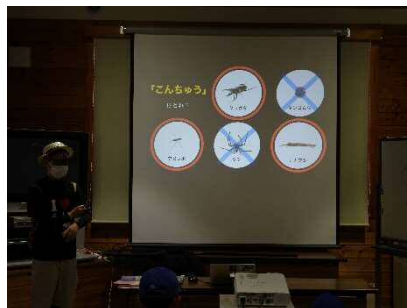
②虫という漢字はヘビの姿が変化してできました



③この中で昆虫はどれかな?



④5種類の小動物の特長を観察しました



⑤正解は足の数が6本の3種類が昆虫でした



⑥クヌギの木は樹液が出るから昆虫が集まるよ



⑦ここにカナブンがいたよ



⑧ノコギリクワガタのメスを見つけたよ



⑨観察後はもといたところに戻してあげました

「こんちゅうきょうしつこんちゅうクンの昆虫教室」で学んだこと

- (1) 虫という漢字はヘビの姿が変化してできた字。(写真②)
- (2) 昔は、虫とは人、けもの、鳥、魚以外の小さな動物のことをさして、ダンゴムシやトカゲも虫と呼ばれていた。
- (3) 昆虫は体が、頭・胸・腹の3つの部分に分かれ、胸に翅と足がついている。
- (4) 昆虫の翅は2対で4枚、足は3対で6本。(写真④)
- (5) クワガタ、アメンボ、ダンゴムシ、ナナフシ、クモの中で昆虫ではないのはダンゴムシとクモ。理由は昆虫の足は6本でダンゴムシは14本、クモは8本だから。(写真⑤)
- (6) 昆虫によってそれぞれ足のつくりが違ふ。また、1匹の昆虫でも1対ずつ足のつくりが違っている。
- (7) 地球上にはおよそ1,000,000種類の昆虫がいる。これは、地球上にいる動物の種類の半分以上を占めている。

「よる夜の昆虫観察会」をかんさつかい開催しました

8月5日(土)の午後6時30分から「夜の昆虫観察会～ライトトラップ～」を開催し、19人の参加がありました。講師である桶ヶ谷沼ビジターセンター職員にしおの西尾さんから、センター内でライトトラップのやり方や、昆虫が光に集まる理由などについての説明を聞いた後、事前にライトトラップを仕掛けた第2駐車場へ出かけました。着いたときはまだ西の空がほんのり明るく虫たちはあまり集まっていませんでしたが、時間の経過とともに辺りが暗くなってくると、ガヤカメムシ、カゲロウ、ガムシ、カナブンなど多くの昆虫が光に集まってきました。今回は残念ながらクワガタやカブトムシを見ることができませんでしたが、楽しく観察を行い、以下のことを学ぶことができました。

- (1) ブラックライトや蛍光灯、HID投光器など紫外線の出るライトがライトトラップに適しているが、LEDライトは紫外線があまり出ないので適していない。
- (2) ライトトラップは、広葉樹が近くに生えている開けた場所、月の出ていない日、風のない日が適している。
- (3) 夜行性の昆虫が集まってくる。
- (4) 昆虫が光に集まる性質のことを走光性という。
- (5) ライトトラップでは昼間見られない種類の昆虫や生態を見ることができる。



講話のようす

夜、昆虫が光に集まる理由などの説明を聞きました。



午後7時15分ごろ

辺りは薄暗くなりましたが、光に集まる昆虫は少ないです。



午後8時20分ごろ

辺りが暗くなると、集まる昆虫が増えました。